



平成 30 年 5 月 22 日

各 位

会 社 名 ウェーブロックホールディングス株式会社
代表者名 代表取締役兼執行役員社長 木根 純
(コード番号：7940 東証第一部)
問 合 せ 先 取締役兼執行役員管理本部長 石原 智憲
(TEL. 03-6830-6000)

穎台投資控股股分有限公司による当社株式一部売却の件

当社の自己株式保有分を除いた第二位株主である穎台投資控股股分有限公司^(注)(英語名 Entire Holding Group Ltd. 以下、「エンタイア社」)が、保有する当社株式 876,027 株の内、334,000 株を売却したとの大量保有報告書(変更報告書)を平成 30 年 5 月 22 日付で関東財務局長に提出したことを、本日確認いたしました。

エンタイア社は、各種ディスプレイ向けの拡散板、導光板を多層押し出し等にて生産、販売する台湾企業で、当社グループが手がける PMMA/PC 二層品等の多層押し出し分野でのパートナーとして、平成 24 年 4 月に資本・業務提携を締結しました。当該提携の中で、両社は株式持ち合いに合意し、当社グループがエンタイア社の発行済株式の約 15%を、エンタイア社が当社の発行済株式の約 8%をそれぞれ取得しました。

資本・業務提携締結時には、エンタイア社は台湾での株式上場企業でしたが、平成 28 年 3 月に台湾大手ファンド主導によるエンタイア社の株式公開買付が行われ、エンタイア社は非上場化しました。その際に当社グループは保有する全てのエンタイア社株式を、当該株式公開買付に応募し、当社はエンタイア社の株主ではなくなりました。

このように平成 28 年 3 月時点で、当初の株式持ち合い関係は解消となりましたが、今回のエンタイア社による当社株式の一部売却は、株式持ち合い解消の流れの中でエンタイア社が実行したものと認識しております。

現時点において当社グループとエンタイア社との間には、当社子会社が製造する二層シートを、エンタイア社の製造子会社に自動車関連分野向けとして納入するなどの取引関係があり、今後もこの事業上の関係は継続していくものと考えております。ただし、当該取引は、当社グループ全体の事業規模に対しては重要性のある金額ではないため、今後、当社グループとエンタイア社の事業上の取引が縮小することがあった場合にも、当社の事業上の損益等に重要な影響を及ぼすものではないと認識しております。

なお、エンタイア社の董事である王志鴻氏は、現在当社社外取締役を兼務しておりますが、本年 6 月 20 日に開催予定の当社定時株主総会の終結の時をもちまして任期満了となる予定です。

また、エンタイア社が引き続き保有する当社株式に関する明確な意思表示等は受けておりません。

注)「穎台投資控股股分有限公司」のうち「分」の字は左側に人偏「イ」がつくのが正しい表記です。

以上